

地方のCNG事業について（徳島および四国を事例として）

エネルギーロスのない、クリーンエネルギー社会へ  
四国のガス新幹線をいち早く開通させる



地域行政と地域産業が一体となった取り組みへ  
エネルギーコスト軽減による地場産業の活性化

徳島県および四国のCNG事業  
福島からのCNG海上輸送による展開

目的  
2020年に計画されているサハリン～東京間の天然ガスパイプラインと天然ガス供給開始に伴い、10～20年後に予想される関西、四国へのパイプライン導管敷設と供給に備える。  
徳島及び四国の導管網等のインフラ整備とスマートシティ、コージェネレーションの推進により早期の天然ガスパイプラインの導入を目指す。

優位性  
地理的メリット（東北からの海上輸送で四国、中国、九州で一番近い）  
四国島内で発電出力が一番高い（橋の発電所の燃料の変換）  
小松島港にて貯蔵基地の用地確保がしやすい  
水素グリッド構想と連動できる

四国島内のLNG基地

坂出LNG  
貯蔵能力 18万KL  
気化設備 3基 150万トン/時  
主な供給先 四国電力坂出発電所



四国ガス高松工場  
貯蔵能力 1万KL

四国ガス松山工場  
貯蔵能力 1万KL

四国島内の主な発電所  
（徳島県以外）

坂出發電所（香川県）  
総出力 110万kw  
使用燃料 LNG、重油、原油、  
コークス炉ガス

西条発電所（愛媛県）  
総出力 42万kw  
使用燃料 石炭、木質バイオマス

伊方発電所（愛媛県）  
総出力 146万kw  
使用燃料 低濃縮二酸化ウラン  
※ 現在点検停止中

徳島市から各都市までのアクセス

高松市 77km  
松山市 193km  
高知市 162km

神戸市 108km  
大阪市 153km  
京都市 180km  
奈良市 174km  
和歌山市 59km（航路）

岡山市 158km  
広島市 246km  
北九州市 500km



大塚製薬徳島工場  
47万㎡（14万坪）  
コージェネシステム導入済み



マリンピア沖洲産業団地



王子製紙富岡工場

阿南発電所

最大出力 210万kw  
運転開始 2000年  
燃料 石炭  
事業者 電源開発



最大出力 125万kw  
運転開始 1963年  
燃料 石油  
事業者 四国電力



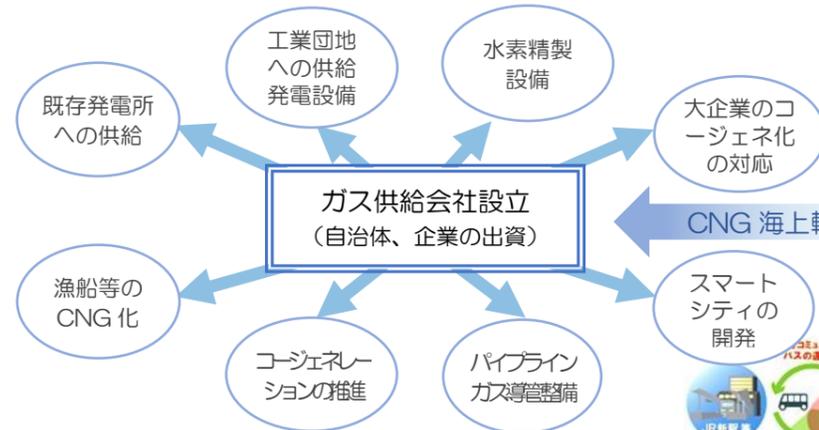
最大出力 70万kw  
運転開始 2000年  
燃料 石炭  
事業者 四国電力



CNG事業内容

日露天然ガス関連CNG供給会社と契約（相馬市）  
徳島CNG供給会社設立（官民出資）→ CNG貯蔵基地の設置（小松島港）  
CNGタンカー建造（地元海運業者と備船契約）とタンクローリー配備  
四国島内行政との調整、行政、企業との連携、サテライト基地の設置

- 各工業団地のコージェネ化と供給
- 発電所の燃料転換への推進と供給
- 主要パイプラインの敷設とガス導管網の整備・拡大
- 水素精製設備と徳島水素グリッド構想への応用
- 町のスマート化とスマートシティの開発
- 漁船のCNG化と既存船の転換促進
- 小型・家庭用天然ガス発電機、GHPほか機器の開発
- 新技術等の研究、研究所等の設置



鳴門市  
藍住町  
北島町  
徳島市  
小松島市  
阿南市  
美波町

大塚製薬徳島工場  
なるとソフトノミックスパーク

松茂工業団地

大塚グループ工場  
徳島ブレインズパーク

マリンピア沖洲産業団地

徳島港

小松島港（国際港）

CNG基地

王子製紙富岡工場  
日亜化学工業本社  
辰巳工業団地  
倉敷紡績  
日亜化学工業

橋湾火力発電所